

「食生活を見直そう」(荻野恭子様) へのコメント

平成20年(2008)3月16日(日)
「地球に謙虚に」運動代表 仲津 英治

去る3月10日、「食生活を見直そう」という 荻野恭子様(料理研究家 フードコーディネイター)の一文を発信させて頂きました所、共鳴される返信を下記の通り頂きました。
貴重なご意見、コメントですので、まとめさせて頂きました。

番号	返信者の関係	主な文章
01	環境NPO友人	先週から家内が友人とトルコに行ってます。イスタンブール・カッパドキヤETC・・・。食の探求の成果を楽しみに致します。
02	環境NPO友人	何時もためになる情報を有り難うございます。 我が家でも野菜は殆ど自家製で、何時も旬のものを頂いています。 一体何時の頃から冬場にトマトや・茄子・キュウリを食べるようになってしまったのでしょうか。フードマイレージを言うまでもなくそれらの野菜は身体を冷やすもので夏場に食べてこそ体力を保つのだと東洋医学を学んだ友人から聞いています。 毎日を忙しく暮らしている私ですがたまに1日空く日があると昆布の佃煮や煮豆など常備食作りに精を出します。今はそんなものまで「袋の味」で買ってくるようですね。
03	大学友人	本情報ありがとうございました。 阪大工学研究科も尼崎に、サステイナビリティ・オンサイト研究センターを開所しました。これからの活動ですが、ご注目下さい。
04	高校友人	仲津先輩いつもありがとう、 本当に彼女の意見に賛成です。1979に南米から帰ってから、日本の飽食にいつかしっぺ返しがくると言い続けてきました、荻野恭子さんのメールをまたお送りください。
05	環境NPO友人、 「地球に謙虚に」 運動呼びかけ人	荻野様の食生活を見直そう！は共感し賛同致します。 実は、私の代替・統合・補完療法の仕事は、この「食」問題から、この分野に到達し、今現在は地域や地域環境・・・人のあり方・・・教育・・・社会システム。 全て関連性があり、利権や既得権益、損得や立場宗教、派閥などを超越した所で、物事の大局を考えて取り組まねば、間に合わないと思っています。 お力や智慧を今後も借りたいです。龍馬は、仲間や家族を愛し免許皆伝剣士でありながら剣を置き、愛と平和の為に・・・カンパニー(自由と平等・資本主義)である海援隊を設立しました。敵対するニーズや困っている事を「利をもって、人を制す！」という旗印を立てて。 私は、地位も名誉も学歴もコネもありませんが、「ヤル気」だけはあります！ただ今、内閣府NPO申請中です。 「理をもって、人を正す！」と言う信念を胸に、未来へ向けて準備中です。今

		<p>後も宜しくお願いします。</p> <p>以下、メール配信は6年目となりました。主に「食」問題をクローズアップして参りました。500名程度の読者がお読み頂いています。</p>
06	環境NPO友人、 「地球に謙虚に」 運動呼びかけ人	<p>この数年、いや数十年以上食品の不正表示や原料の誤魔化しなど健康や食の安全を無視する事件が相次いでいます。</p> <p>売れるから...良い商品とは限りません。 流行だから...本物とは限りません。 大手企業だから...安心安全な原料とは限りません。 生協の製品だから...大丈夫と限りません。 歴史ある老舗でも...間違いないとは言えませんね。 情報が氾濫する中で何が本物で真実であるかどうか?! 判断できる目を養い大切な家族や友人子供たちの健康と未来を守って行く... それは、他の誰でもない自分自身なのです! 使命感を持って世に訴えかけて参りましょう!!</p> <p>最近、『キレル子供たち』が増え、親の躰やゆとり教育の弊害、家庭環境崩壊などが原因であると問題視されています。 『ぷつつん(〜〜;) (´)キレル!!』現代の子どもたち... そして無責任に生きる大人(@_@) その原因を、栄養バランスの偏り添加物・残留農薬類、毒物、科学薬品などの過剰摂取にあると警鐘を鳴らす団体や学者もいらっしゃいます。 確かに添加物や科学物質が、子どもたちの脳に影響を与えているかも知れません。 生命=『食』を軽く見た代償かも知れませんね。 “食”のありがたさ(有り難さ)命の尊さと大切さが解らない子供たち...今一度『食』の安全を見直し、生命や自然の恩恵の大切を我々大人が真剣に語り継いで参りましょう!!</p>
07	環境NPO知人 エネルギー関係	<p>活発に啓蒙活動をなさっておられるのをいつも頼もしく拝見させていただいております。</p> <p>さて最近の中国の農薬問題はいささかヒステリックで近視眼的だとは思いつつも、結果が良い方向に動く契機にはなるかも知れないなどと考えて推移を見ております。</p> <p>食料自給率や有機農法は、私も強い関心を持っている問題ですが、いささか古い本に面白い記事を見つけましたので、ご紹介します。2004年の学会報ですから、すでにご存じかも知れません。稲作のこの特徴は余り知られていないのではないかと思いますので、ご紹介した次第です。 (日本人の食料問題―見落とされている重大な点―石塚喜明)</p>
08	博覧会友人	<p>何時もフレッシュな情報有難う御座います。特に食の問題や地域環境の問題は私たちの身近なテーマとして常々関心が有りましたので参考になります。 益々活動が成功裏に推移しますようお祈り致します。</p>
09	鉄道友人	<p>最近の食料事情、いつのまにかこのような状態になってしまったのかと、誰もが思っているのではないのでしょうか。</p>

		<p>肝心なのは「のどもと過ぎてなんとやら」とならないように忘れないことだと思います。</p>
10	鉄道友人	<p>彼女のエッセイの中身は、我が家の食生活の方針と全く一緒でした。</p> <p>福岡では、蕨の薹に始まり、若布、土筆、タラの芽、蕨、うどの新芽、春が終われば鰻子釣り。若布と鰻子は冷凍して一年分の味噌汁の具や出し取りや干物に成ります。米、野菜、肉類やその他は福岡糸島産又は大分、佐賀、九州一円産でほぼ充当可能です。</p> <p>香辛料や即席的な物やパスタ等はそうも行きませんが、なるべく国産のものを使っています。やはり、食の安全に関するコストや生産者が成り立つ（サボリ等が介在するので難しいが）に必要なコストは、かなり負担しないと長くは続かないと思います。</p> <p>安全（食、事故、生活等々）、信用（個人、企業等）、国の安定と防衛（又は地球の）、教育、公共事業、医療、治安等々、経済原則だけで考えてはいけない分野が存在しています。</p> <p>話が少し飛躍しますが、福祉型自由経済と修正共産（社会）主義の最終目標は、途中の歩む道は違えどそんなに大差の有る物では無いのでは無いでしょうか？</p> <p>とはいえ、現今の投機筋による物価等の人間的恣意的操作による異常な変動（石油を代表とする）は、経済的又は法律的合法（現在は）の下でも、環境問題と共に人類の未来に暗い影を落としそうです。色々な人間がいる中での性善説的規制緩和も考え物だと思います。（正常な社会生活を営めない人間は、人間社会として保護すべきだと思いますが、それを判断する仕組みが「？」なのも気になります。）何はともあれ、子孫に憂いを残さない（国等の借金等も）よう個々人から取り組まねば、と思っています。</p>
11	博覧会友人	<p>さて、荻野さんのエッセイを読んで、久々にメールをします。</p> <p>食品については不明朗なところが多くかつ確認の仕様が無いので、かなりの分野でごまかしをしているのではないかと前から思っていました。去年は国内の老舗会社をはじめとして多くの偽装が発覚しました。更には中国の農薬入り餃子と言う、決定的な事件まで起きてしまいました。</p> <p>中国産の野菜は、農薬漬けである事は周知の事実ですが、その野菜そのままではなく餃子に加工されて入っているとは、誰しも深刻に考えていなかったのではないのでしょうか。</p> <p>この件から類推すると、今多くあるファミリーレストランはどうなのでしょう。ファミレスでは、そこで調理を殆どしないで、暖める程度でお客様に出しているの、半製品はどこで作られ、その原料はどのものかは皆目分りません。原料の産地を表示している店があったとしても、それを証明、あるいは確認する方法が在りません。</p> <p>町場の食堂や中華料理店も、素材は日本国内の八百屋などで仕入れるでしょうが、原価を抑えるため安い野菜を求めるとして、安い野菜の殆どは中国産です。</p> <p>最近は何分りませんが、以前自宅でインスタントラーメンの中にキクラゲを入れて食べていました。そのキクラゲは、スーパーで買ったり温泉旅行のお土産に買ったりしたものでした。ところがそれを食べた後に、腹が絞られるようになって下</p>

		<p>痢をするようになり、下痢が頻繁に起きるようになってキクラゲを食べのを止めました。勿論キクラゲを入れなければ下痢は起きませんが、当時は乾物に産地名を入れることにはなっていないので、今から考えると中国産ではと思っています。スーパーならまだしも、山奥の温泉地までと思うと、ゾッとします。</p> <p>ところで、食の安全を考えると、荻野さんの言われるとおりでと思います。「国産の食品を買う」事が主張の底流にあります。これもその通りですが、それに対して2点ほど意見を言わせていただければと思います。</p> <p>1点目は、トレーサビリティの拡充と、罰則の強化。 国内産の食品を買うといっても、きちんと表示されていなければ、選ぶことも買うこともできません。 野菜単体については産地名が表示されるようになってきていますが、冷凍食品や練り製品のような半加工製品は十分表示されているのでしょうか。 加工場が国内だとしても、主要原料以外は不明です。 消費者が安心して食品を選べるため、表示制度の見直しと、吉兆、赤福、ミートホープなど、虚偽の表示に対する罰則の強化が必要ではないでしょうか。</p> <p>2点目は、農産物の生産者価格の改善。 私は昨年伊豆へ移住し、畑仕事を始めました。 まあまあ順調に農作物ができ、自家消費以上の生産物をためしに市場に出荷してみました。量が少ないので、市場といっても公設の市場ではなく、農協が主催し地元の八百屋が競りをする市場です。出してみても生産者価格とはこんなものかと、初めて知らされた思いです。 スーパーや八百屋の売値の5分の1か、それ以下でした。 スーパーで1つ250円以上するような大きなキャベツが40円ぐらい、一抱えもする大株(30cm位)の水菜が1つ20円。 これでは農家は生活していくのは大変だとか、近所の人や知人に上げて喜んでもらったほうが良いな、と感じました。 工場生産品は、生産サイドで1/3、流通段階で1/3、小売段階で1/3、が一般的と理解していました。野菜の価格体系はどうなっているのでしょうか。 移住先の土地の農家も若い人は殆ど居なく年寄りばかりで、そのせいか周りの農地も半分は放置状態です。日本の農地・田舎が荒れていく、縮図を見ているようです。これを食い止めるためにも、日本の食料自給率を高めるためにも、農産物の生産者価格の改善が必要ではないでしょうか。</p> <p>食品行政、農業政策を始め、役人・政治家の無策・無作為等、根は深いものがあると思っています。</p>
12	大学友人	<p>国の農政、地域の自給、家庭の手料理、これは生物体としての人間集団が生きていくための最低の条件ですよね。</p> <p>最近ですが、グリーンランド東岸のイトコトミットを訪問しました。冬の寒さは厳しいのですが、温暖化でシロクマの数は減少、またイヌイットの人達のライフスタイルの変貌ぶりに驚きました。</p> <p>デンマーク政府の保護政策はいいのですが、スーパーマーケットにはカップヌードルが有り、現代人の病む生活習慣病がイヌイットの間で増えてきているよう</p>

		<p>です。</p> <p>がん予防の面からもいろいろと考えさせられました。</p>
13	鉄道友人	<p>「食の安全」に関するお便りありがとうございます。「毒入り餃子」及びそれに同根の話題を見聞きすることが多くなりました。確かに荻野女史が言われるように、「高くても国産品を」の主張は良くわかります。対応策として、結論的にはそれしか無いでしょう。しかし、戦後 60 余年を掛けて現状に至ったわけで、簡単にいきませんぞ！『何故ならば国民にも一定の辛抱と我慢を強いることになるからです。でも「食料の自給率を上げる」という目標に向かって国家的・戦略的に取り組む必要を痛感しているところです。』</p> <p>昔、こんな話を聞きました。卵から孵ったヒヨコが、ブロイラーの場合 80 日で成鳥の体重になります。農家はそこで出荷するわけですが、当然「最近の鶏肉は、締りがなくて味も悪い」となります。そこで善意の農家が、さらに 40 日間野に放ち、肉を引き締めます。そうすると「比内鳥」（秋田県の大館盆地あたりの名産鶏）をとも見まがう美味しい鳥になりますが、養育費は最低 1, 5 倍になります。そこで 100 g 100 円のブロイラーと、150 円の「鶏」を並べたとき、家庭の主婦はどちらを買ってくれるか、という問題にぶつかる訳です。出来る人は今すぐ「高くても国産品を！」で解決しますが、「国」単位で解決するには国家戦略として真剣に、具体策を立てて取り組まねばならないでしょう！とりあえず私は、「食べ残さない」「食材を腐らせず使い切る」から始めます。本当に重要な「国民的課題（後進国の飢餓とは別に）」になったと思います。</p>
14	会社友人	<p>いつも有益な、新しい情報を送っていただき、有難うございます。</p> <p>この度の「国民の食生活」にせよ、前回の「ガソリン税と環境問題」にせよ、本当に今真剣に考えなければならない重要な問題であり、基本的には貴兄のお考えに大いに共感しています。</p> <p>ただ現状のままでは、余りにも国の政策は無為無策に過ぎます。中・長期的な方針を持ちながらも、時々国際情勢、経済の動向をにらんで、国民生活の非常事態をさけるために、時限的に応急的に思い切った政策ができる政治家は居ないのでしょうか。</p> <p>昨今のように、本当に次元の低い、目先の党利党略ばかりの論争に終始している有様では、この国の行く先はどうなるのか。情けない限りです。</p>